

わかさ 議会だより

第188号

令和6年

11
月号

WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

林業を背負って

岡部林業株式会社

岡部 茂輝さん



P2~3 令和5年度 一般・特別会計決算
 P4 決算審査特別委員会報告
 P4~5 決算審査意見
 P6~7 令和6年度 一般・特別補正予算
 P8~11 審議結果・討論

P12~15 一般質問
 P16~19 常任委員会報告
 P20 議員研修報告
 P21 議会からのお知らせ
 P22 わたしの想い(杉田さん)

の維持存続を をしよう!

コロナに
負けるな!

経済産業課

商工振興事業
4561万円



若桜町商工会

商工業の振興と発展のため、商工会へ運営費補助及び町内での創業支援を行い、中小企業の振興と住民の地域内消費の推進を行った。

若桜町の歴史を
後世へ

9月定例会

令和5年度決算
(令和6年9月10日～20日)

一般会計(歳出)

40億5871万円

一般会計(歳入)

43億7063万円

依存財源(78%)

33億9805万円

自主財源(22%)

9億7258万円

項目は一部の掲載となっています。

教育委員会

若桜町誌編さん事業
481万円



続若桜町誌

昭和29年の若桜町と池田村との合併から平成末までの歴史を記録に留め、これを後世に伝えていくため、「続若桜町誌」の編さん・発行を行った。



食料品スーパー 町内で買い物

企画政策課

買い物環境整備対策事業 3237万円



移動販売車

「エスマートわかさ店」が開店し、町内における食料品スーパーの維持存続を果たすことができた。また、「フードセンター小嶋」により、移動販売も継続することになった。

いつでも
買い物ができる
環境を！

企画政策課

グリーンスローモビリティ事業 232万円



実証実験開始

令和5年11月3日～12月4日のうち計27日間、第1回目の実証実験運行を実施し、延べ365名が利用した。今後も十分な検討・協議を重ね、本町に適した形態での導入・活用を目指す。

特別会計

事業名	5年度決算額
国民保険事業	4億1767万円
介護保険事業	5億9666万円
後期高齢者医療	6419万円
簡易水道事業	1億3559万円
公共下水道事業	1億1757万円
農業集落排水事業	6071万円
赤松団地造成事業	56万円
財産区造林事業	79万円
索道事業	6364万円
住宅新築資金等貸付事業	41万円

町にあった
運行を！

決算審査特別委員会

令和5年度決算認定

委員長 川上 守 副委員長 梶原 明



決算審査特別委員会

令和6年9月10日の本会議において、当委員会に付託された案件を審査するため、9月12日、13日、17日の3日間にわたり委員会を開催し、町長ほか、各課長並びに関係職員の出席を求め、慎重に審査を行いました。当委員会に付託された令和5年度一般会計決算、令和5年度特別会計決算（10会計P3参照）は、審査の結果認定すべきものと決定しました。

審査の経過
及び結果

財政関係指標等



区 分	数 値			
	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	
経常収支比率	84.2%	88.3%	91.9%	
実質公債費比率（単年度値）	8.3%	9.0%	9.6%	
実質公債費比率（3年間の平均値）	7.2%	7.9%	8.9%	
地方債残高	59億7260万円	59億3702万円	59億4312万円	
内 訳	一般会計	41億9613万円	41億7972万円	42億4505万円
	簡易水道事業	6億6183万円	7億3995万円	7億7908万円
	公共下水道事業	5億6756万円	5億1356万円	4億5612万円
	農業集落排水事業	3億6921万円	3億2438万円	2億7753万円
	赤松団地造成事業	475万円	435万円	394万円
	索道事業会計	1億7313万円	1億7507万円	1億8141万円
基金残高	25億907万円	26億3201万円	25億4010万円	

まとめ

令和5年度一般会計の決算額は、歳入43億7063万円、歳出40億5871万円、差引残額3億1192万円で、繰越財源を控除した実質収支は2億2079万円の黒字決算となっている。財政運営の指標の中で、実質公債費比率（3ヶ年平均）は、8.9%で1.0ポイント、経常収支比率は91.9%で3.6ポイントそれぞれ上昇しており、財政指数が硬直化してきている。今後、地方債残高の元利償還金が増加する一方、人口減少が進むことにより基準財政需要額算定で交付税が減少することが予想され、物件費、人件費の増加が見込ま

れることから、経常収支比率がさらに上昇する恐れがある。事業計画するにあたり、よく検討したうえで、公債の発行と基金の取り崩し等についてバランスを取っていくことが必要と思われる。一般会計の歳出執行割合が86.2%で、翌年度繰越額が3億2430万円計上されている。事業実施するにあたり、繰越せざるを得ない案件と思われるが、今後予算計上について十分検討願いたい。決算審査で各課等より提出された資料の課題については、今後早急に検討され、合理的かつ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

監査委員

決算審査意見 (要約)

代表監査委員 谷口 秀昭 監査委員 梶原 明

令和6年8月1日、2日、5日、6日、7日、8日、9日の7日間、令和5年度各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めた。また、会計における残高及び基金における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。

留意、検討事項

(1) 財政運営の指標について

経常収支比率は91.9%で、前年度88.3%から3.6ポイント増加し、財政指数が硬直化している。これは、物件費の増加や元利償還金がピークを迎えているほか、会計年度任用職員の共済組合加入による負担金や人事院勧告に伴う期末勤勉手当の増額により人件費が増加したことなどが主な要因である。今後とも限られた財源の有効活用に努め、経常経費の抑制や既存事業の見直しを図るなど、これまで以上に簡素で効率的な行財政運営を意識され、指標となる70%台に向けた改善努力を望む。

(2) 各種税と使用料等について

①町税ほか各種保険料等について

町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税における現年度分の収納率はすべて99.3%以上で、滞納繰越分を含めても92.6%となっており、これらは対前年で0.3ポイント増加しているが、町民税については、現年度分及び滞納繰越分を含めても99.0%で、県内でもトップクラスであり評価できる。引き続き「新たな滞納者を出さない」という強い姿勢で、滞納額の減少と徴収率の向上に向けて努力されたい。

②各種使用料と住宅新築資金等貸付金について

現年度分徴収率の、農業集落排水使用料は99.2%で対前年比0.5ポイント減少、改良住宅使用料は93.9%で、対前年比4.6ポイント減少、町営住宅使用料は97.1%で対前年比0.4ポイント減少、簡易水道使用料は98.5%で対前年比0.9ポイント減少、公共下水道使用料は98.7%で対前年比0.5ポイント減少している。また、不納欠損については、下水道使用料において18万8千円を実施された。引き続き「新たな滞納者を出さない」という強い姿勢での効率的で積極的な未収金回収対策の取り組みが必要である。また、住宅新築資金等貸付金の滞納額は8527万4千円で徴収率は0.4%である。債務者別の回収計画に沿った取り組みと、滞納額の減少に向けた取り組みを引き続き実施されたい。

(3) 地籍調査事業の推進について

当町の地籍調査は、令和5年度末で調査対象面積145.16km²のうち、調査済みとなっているのは5.31km²である。進捗率は3.7%にとどまり、県内市町村で最下位となっている。令和6年度より、人員体制を整え、進捗率の向上を図るため平野部と山林部を並行調査されるとのことだが、人口減少や高齢化が進んでおり、立会が更に困難になるため、早急に対応願いたい。

(4) 若桜鉄道対策事業について

鉄道施設保守及び管理委託料を若桜鉄道対策費で負担し続けている。SL・DL等の運行も検討されているが、観光列車等の老朽化に伴い車両更新も予定されている。効率的な事業実施を行うとともに、八頭町と連携しアフターコロナにおける若桜鉄道の利用促進施策や活用方法を引き続き検討を行い、インバウンドを含めた交流人口・関係人口の増加に努めていただきたい。

(5) バス運行事業について

地域コミュニティタクシーに、新たに1団体が加わり3団体(吉川、高野・上高野、落折・小船)となった。デマンド交通は、免許返納等により利用が毎年増加している。定期路線運行から町内全域を対象とするドアツードア型のデマンド交通へ、若桜町公共交通計画に沿った運行方法への移行を行い、地域住民に寄り添った利便性の高い公共交通を確立していただきたい。

(6) ふるさと納税推進事業について

返礼品の表示方法などを改善し見栄え向上とサイトの拡充により納税者数は大幅に増え、令和5年度の寄付額は6410万5千円で前年比31%となった。これは、共通返礼品である梨の申し込みが好調なことが主な要因である。今後も、他のポータルサイトなどを参考にして、特徴のある地元の返礼品を開発努力されたい。

(7) 基金の運用について

令和5年度末の基金残高は25億4763万6431円あり、金融機関への定期預金(0.002%~0.005%)普通預金(0.001%)、債券(国債)で運用されている。令和5年度は、若桜町公金の管理及び運用に関する要綱に基づき、定期預金より金利の高い債券購入を開始された。今後も安全かつ効果的な債券運用を実施されたい。

験運行(若桜経由便)

第5回

9月定例会

(令和6年9月10日～20日)

町民課

地域食堂運営支援事業 206万円



池田分館

子ども等の居場所づくりについて、新たに取組みを行う民間団体等の立上げを支援し、町内での団体の育成、取り組みの推進を図ることで、地域福祉及び児童福祉の向上に寄与するもの。

居場所づくりを
目指して

ゲレンデの
集客増へ

令和6年度 若桜町一般会計 補正予算(第3号)

1億222万円 追加

総額

46億754万円

補正項目は一部の掲載となっています。

経済産業課

(特別会計)索道管理費 6325万円



更新予定の圧雪車

PB300(圧雪車)を購入してから26年経過しており、年々修繕費が増加していることから新車へ更新するもの。

みんなで利用しよう!

大阪高速バス試

企画政策課

中山間地域振興事業 2000万円減額



(旧) 菴米分校

(旧) 菴米分校を活用して新たな事業を開始しようとしていた業者が、人員不足や投資費用の回収が困難なこと等を理由に事業を中止したため、町負担で改修する予定だった費用を減額するもの。

(旧) 菴米分校
早期の
利活用を

高速バスの
本運行を
目指す!

企画政策課

バス運行事業 371万円 (内) 104万円



バス停

鳥取～大阪の高速バス(若桜経由便)について、令和6年12月と令和7年1月の土・日・祝日及び年末年始に試験運行を実施するため、運賃助成とPRのための費用を計上するもの。

その他	若桜町有土地の貸付 持続的な買物環境を構築するために、貸付金額を減額するもの。(株式会社エスマート) 土地の所在 若桜町大字若桜357番地2・356番地1 土地の面積 1205.41㎡ 貸付期間 令和6年10月1日から令和9年3月31日 貸付金額 令和6年10月1日から令和7年3月31日 29万4450円 令和7年4月1日から令和8年3月31日 59万517円 令和8年4月1日から令和9年3月31日 59万517円	可決	
	業務委託契約の締結 業務名 若桜町IRU告知システム等更改業務(2年目) 契約の相手方 西日本電信電話株式会社 鳥取支店 契約金額 1億4278万円	可決	
	損害賠償の額を定めること 損害賠償の額 5万5220円 損害の概要 町道西町2号線において床版の受けの一部が欠損していたため床版が跳ね上がり、車底に損傷を与えたもの。	可決	
	財産の取得 わかさ氷ノ山スキー場の圧雪車を購入するもの。 財産の内容 ピステンブーリー 400V 契約の相手方 スノーシステム株式会社 取得金額 5998万3000円	可決	
	若桜町教育委員会の委員の任命 伊井野早苗さんを任命。	同意	
陳情・請願	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情	委員会審査結果 不採択	不採択
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	委員会審査結果 不採択	不採択
	現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める請願	委員会審査結果 不採択	不採択
	「年金積立金の活用で物価上昇を上回る年金引き上げを求める意見書提出」についての請願	委員会審査結果 不採択	不採択

質疑

令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算(第1号)

山本晴隆議員 6325万円の圧雪車の購入費について、事前に知らされず、第1リフト改修など、高額な支出が続く、今年度は合計で約1億2500万円が計上されており、今後も計画性のない予算要求が続くのですか。

町長 圧雪車の維持管理費が予想より高額となり、更新がトータルコスト面で有利と判断。補正予算は唐突だったと反省し、今後は更新計画を立て相談をしながら進めていく。

山本晴隆議員 歳入の辺地対策事業債が当たらなかった場合の購入方法は。

町長 辺地対策事業債は1番有利な財源ですが、当たらなかった場合には過疎対策事業債を併用。あるいは基金を取崩す。

谷口 貴議員 6325万円の圧雪車を購入することにより氷ノ山エリアだけではなく、若桜町全体で考えた場合に、町民のためになるとお考えですか。

町長 氷ノ山には冬のシーズンだけで約3万人が訪れます。このお客様たちが道の駅や若桜宿にも足を運んでいただける仕組みを作ること、地域全体の経済に大きな効果が期待できると考えています。

一目でわかる 審議結果

第5回議会定例会 9月10日～20日

決算	令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定	認定
	令和5年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算の認定	
	令和5年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
令和5年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定		
補正予算	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第3号） 1億222万円を追加、歳入歳出予算をそれぞれ46億754万円とする。	可決
	令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 1254万円を追加、歳入歳出予算をそれぞれ4億7210万円とする。	可決
	令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 2674万円を追加、歳入歳出予算をそれぞれ7億788万円とする。	可決
	令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第1号） 6325万円を追加、歳入歳出予算をそれぞれ1億5575万円とする。	可決
	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第2号） 1921万円を追加、収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ1億4728万円と定める。	可決
	令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算（第2号） 346万円を減額し、収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ1億3494万円と定める。	可決
	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第1号） 1254万円を追加、歳入歳出予算をそれぞれ4億7210万円とする。	可決
条例	若桜町国民健康保険条例の一部改正 被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証の返還に応じない者に対する罰則規定を削除するため、条例の一部を改正するもの。	可決
その他	若桜町総合整備計画の策定 必要とする経費の財源に辺地債を充てるため、整備計画を策定するもの。 (大野辺地・小船辺地総合整備計画 令和6年度～令和7年度)	可決
	若桜町総合整備計画の変更 必要とする経費の財源に辺地債を充てるため、整備計画に事業を追加し、併せて、終了した事業について削除を行うもの。(菴米辺地・吉川辺地総合整備計画)	可決
その他	若桜町有建物の貸付 持続的な買物環境を構築するために、貸付金額を減額するもの。(株式会社エスマート) 建物の所在 若桜町大字若桜357番地2・356番地1 建物の面積 1階 484.05㎡ 貸付期間 令和6年10月1日から令和9年3月31日 貸付金額 令和6年10月1日から令和7年3月31日 8万2120円 令和7年4月1日から令和8年3月31日 16万4692円 令和8年4月1日から令和9年3月31日 16万4692円	可決

請願

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	×	○	×	○	×	—	○	×	議	不採択

原案賛成 中尾理明

東京商工リサーチは、介護報酬2～3%引き下がり、介護事業者の倒産が114件と、前年比1.44倍に達したと伝えている。倒産により利用者家族は困っている。介護従事者の速やかな処遇改善のためにも報酬再改定が必要と考えるため賛成します。

請願

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める請願	×	○	×	○	×	—	○	×	議	不採択

原案賛成 中尾理明

日本海新聞は、保団連のマイナ保険証利用調査で1万242医療機関の69.7%に名前住所に不正確等のトラブルがあり、現行マイナ延期意見の合計が91.3%と伝えている。現行保険証とマイナ保険証の選択制にするべきと考え賛成します。

請願

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
「年金積立金の活用で物価上昇を上回る年金引き上げを求める意見書提出」についての請願書	×	○	×	○	×	—	○	×	議	不採択

原案賛成 中尾理明

物価高騰の中、年金は増額分2.7%から物価上昇率3.2%を差し引いた0.5%が実質減額。年金積立金運用益は、132兆円あり、そのわずか2000億円で本年度減額分は、カバーできる。また、年金引上げは県内経済に影響が大きいと賛成します。



原案に対して 賛否の分かれた議案

第5回議会定例会 9月10日～20日

「○」賛成、「×」反対
「議」議長（採決は議長を除く）

決算

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	—	×	○	議	認定

原案反対 中尾理明

解放同盟高野支部への補助金に反対です。支部は、任意の運動団体であり、自主運営すべきです。地区への特別法「地域改善特別法」は、2002年3月末に失効しており、法的根拠も失っているため。

補正予算

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	×	—	○	○	議	可決

原案反対 谷口 貴

歳入の辺地対策事業債も確約されていない。基金の取り崩しの可能性もあり納得出来ない。氷ノ山は重要な観光資源ですが、この税金の使われ方は、傷口が開いて出血している状態での輸血に感じます。輸血をやめれば死にます。治療する為の予算ではないので反対します。

陳情

氏名	谷口貴	森田二郎	梶原明	山本安雄	山本晴隆	川上守	中尾理明	小林誠	山根政彦	結果
「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情	×	○	×	○	×	—	○	×	議	不採択

原案賛成 森田二郎

部活動地域移行は、教育活動として進めて欲しいのが現場の声。カリキュラム・オーバーロードは全国も県も若桜も同じ状況。これらの解決が長時間労働を是正し、子どもたちと向き合う時間を生むと考え、賛成します。

質問議員 ページ	質問事項
中尾 理明 P.13	① 「改正」 地方自治法及び関連事項
	② 米軍機・自衛隊機の低空飛行訓練中止
山本 安雄 P.14	① 働く環境整備
	② 自治基本条例（仮称）の制定
川上 守 P.15	① 若桜駅周辺整備



本会議場

- ・各一般質問の主な内容を各議員が要約して掲載しています。
- ・一般質問の全ての内容については、スマホ、タブレット等でQRコードを読み込むと、ご視聴になれます。

一般質問とは

議員が町の行財政全般、住民生活に密接していることに対して、執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長や執行機関に直接質すことです。

町政を問う

一般質問



若桜庁舎上空を低空飛行

Q 8月28日、午後1時半頃、宿内真上を、4機の戦闘機が同時に扇形に並んで飛びました。池田分



中尾理明

低空飛行中止

A 今までは考えていない。県を通じて要請を続ける

Q 八頭町長と外務・防衛省に要請する意味は

A (町長) 八頭町と連携し、県、町村会要請として、鳥取県を

するのかわからんと怒っていました。町内での衝突・墜落事故で命が失われてからは取り返しがつきません。低空飛行中止について、町村会、鳥取県にも要望を続けています。30年前、盛田町長は、山根八東町長とともに、直接外務省に赴き、中止を求め要請を行いました。町長は、八頭町長と外務省・防衛省に要請に出向かれる意志はありますか。

通じて関係省庁へ要望を行い、防衛局が現地調査を実施したと思います。防衛に関することは、国の専管事項です。今後、県を通じて要望活動を行いたいと考えています。現時点で外務省・防衛省に八頭町長と出向いて、直接要請することは考えていません。

Q 室蘭工業大学 大学院の清末愛紗教授は、「外交や安全保障は国の専管権事項としてきた。外交問題が特定の地域の住民の生活に密接な影響を及ぼすような場合、例えば沖縄の住民の生活・各種の被害等を軽視することにつながる。そのような事態を回避するためには、国の専管事項論を見直し、憲法が規定する地方自治制度を活用すべき」と問題提起してい

A (町長) 学者の言葉として、「国

ます。専管事項を若桜に置き換えれば、「若桜町民、鳥取県民も危険な米軍・自衛隊による低空飛行訓練を容認せよ」ということになりませんが、どう思いますか。



低空飛行 (日南町)

の専管事項であってもそれが特定の地域に対して、住民のその生命・身体等に危険を及ぼす場合は、地方自治の観点から国の専管事項論を見直すべき」との考えもあるのだと、受け止めたいと思います。



若桜駅周辺



第10次若桜町
総合計画では、

「観光の振興において
駅前、駅中の観光客を、
駅構内へ導くため、若



川上 守



駅周辺整備



まちづくりマスター
プランを作成



若桜駅周辺整備は

年層をターゲットとし
た新たな観光スポット
の整備の検討をする」
となっております。若桜
駅を中心とした、観光

のツールの一つとし
て、現在「跨線橋整備」
が考えられています
が、駅周辺整備をどの
ように考えているのか
伺います。



(町長) 駅周辺
整備に関係する

ので、跨線橋について
説明します。設置の目
的は、道の駅と若桜駅
は、直線距離の倍程度
の距離を要している、
分断されているという
のが実情です。跨線橋
により、鉄道構内を最
短距離で結び、双方
の往来を円滑にするこ
とができます。それ
により、観光客の滞在
時間を増やし、飲食店

利用や、土産物の購入
などの消費活動を促
し、地域経済の活性化
につなげていきたい。
これがひいては、雇用
の確保や人口減少対策
にもつながると考えて
います。加えて、駅の
構内をまたぐことで、
橋の上からS&LやD
L、転車台などの構内
のレトロな雰囲気を感じ
ていただき、橋その
ものにも、新しい観光
的な価値を持たせるこ
とができると考えてい
ます。両駅をつないで、
円滑な人の流れをつく
ることの意義は、高
まっていると感じてい
ます。町民の利便性の
確保ということも、目
的の一つであります。
跨線橋の整備構想を
一つの契機として、若
桜地域の将来像となる
「まちづくりマスター
プラン」を作成してい
きます。



旧わかさ生協
診療所の跡地利
用を、どのように考え
ているのかお尋ねしま
す。



解体中の旧わかさ生協診療所



(町長) 町が、
更地の状態で買
取るといふ方向で交渉
を進めています。若桜
駅周辺、あるいは、こ
の若桜宿内も含めて、

今後のマスタープラン
を検討したいと考えて
います。その中で、旧
わかさ生協診療所跡地
について検討したいと
考えています。

※「マスタープラン」
都市計画、事業計画
などの方針や目標を
明確にする図書等を
いう。

委員会報告（抜粋）

総務課

旧わかさ生協診療所の土地を活用

説明

・旧わかさ生協診療所の跡地を建物解体後に取得して宿内で不足している駐車場にしたいと考えている。

面積 1068.73㎡

意見

Q

建物解体の時期の提案はあったのか。

A

年内には解体したいとのこと。

Q

更地で購入後、駐車場に整備する費用は。

A

駐車場整備事業などの有利な財源確保が出来る場合があり、まだ具体的な金額の試算はしていない。

Q

町の活性化を考えて将来的に、駅前や駅裏をどうするのか総合的な計画を立てて欲しい。

A

農協の倉庫など魅力的な建物もあるので、活用を十分に検討していきたい。

常任委員会開催日

第10回 7月3日 水曜日 月例常任委員会

- ・ 跨線橋
- ・ 旧わかさ生協診療所の土地 ※P16参照
- ・ 町営住宅払い下げ
- ・ 若桜学園グラウンド整備

第11回 7月31日 水曜日 月例常任委員会

- ・ 新町造成地 ※P19参照
- ・ 若桜町老朽化建物除去事業補助金
- ・ 若桜町学生保育施設就職奨励金
- ・ Sマートの改修及び売買

第12回 8月19日 月曜日 月例常任委員会

- ・ (旧) 菴米分校の活用 ※P19参照
- ・ 跨線橋に関するパブリックコメント

第13回 9月2日 月曜日 定例常任委員会
9月3日 火曜日

- ・ 9月議会定例会 上程の議案
池田分館「地域食堂」 ※P18参照
吉川そばをブランド化・創業支援補助金増額 ※P18参照
圧雪車購入 ※P17参照

駅周辺を
どうする？



解体されている旧わかさ生協診療所

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

総務産業教育民生常任

圧雪車購入

経済産業課

|説明

・わかさ氷ノ山スキー場では、1997年購入の「PB300」、2009年購入の「PB400」の2台の圧雪車を保有している。PB300は購入から26年が経過し、年々修繕費が増加していることから、新車へ更新するもの。

購入の財源は町債を活用し、索道事業特別会計の負担を軽減する。

スキーシーズン中の安定した稼働。

不具合発生時に迅速な対応が可能。

作業効率の向上。

索道事業特別会計の費用負担削減。

PB300の下取りが可能。

安全に安定した
ゲレンデづくりを

|意見

Q 圧雪車は、もっとグレードの良い物にすれば1台体制で出来るのではないかな。

A グレードの良い物は車重が増え、積雪が少ない時には、かなり下の土を巻き上げる。メーカーや関係者と相談し、2台体制に決めた。

Q 今シーズン、100時間程度の使用で、この度の整備費用が400万円とか、200万円もかかるのは、不思議に思う。メーカーの言いなりになっているのではないかな。

A 毎年、メーカーが推奨している箇所から整備しているわけではない。優先順位をつけて整備し、極力費用をかけないようにしている。

Q 新しい圧雪車を購入すると、作業効率が上がると説明されたが、今はどれくらいの作業時間なのか。

A 日々の状況は確認していないが、一般的に3時間程度。

Q 他のゲレンデは5時間くらいかけて整備している。今の圧雪車で3時間程度で終わるのにそこまでの効率化が必要なのか。

A 性能が上がった機械を使用することで、運転者の負担が少なくなる。

Q この圧雪車の予算はメーカーの見積もり通りなのか。値段交渉はしないのか。

A 詳細はこれから折衝していく。



購入予定の圧雪車（イメージ）

委員会報告（抜粋）



そば打ち

吉川そばをブランド化 創業支援補助金増額

経済産業課

説明

- ・吉川そばを産地化しブランド化する計画。地域おこし協力隊と連携し、そば屋の開業がスムーズに行えるような体制を作る。
- ・創業支援補助金を当初5件程度を見込んでいたが、現在かなりの相談件数があり、2件程度増えそうなので、増額する。

意見

Q 創業支援補助金が増えそうとの説明だが、いつ頃の創業予定なのか。

A 商工会に経営計画書や経営をやっているのかどうかの指導を受けながら計画しているので、今年度中なのかどうかは確定していない。

池田に 地域食堂開設

池田分館「地域食堂」

福祉保健課

説明

- ・池田分館で「地域食堂」を開設。10月から開始予定。

意見

Q 1回につき何人くらいを想定しているのか。

A 30人程度で、実際は20数人だと思っている。包括支援センターの方に、独り暮らしの高齢者の方へ声かけをしていただく。



池田食堂

起業を支援

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

○ : 意見

総務産業教育民生常任

新町造成地

地域整備課

説明

・集合住宅は152坪を1区画。残りは、50坪弱を6区画、4メートルの道を計画している。

意見

Q 50坪弱の区画では駐車スペースが少なくなるのでは。

A 宿内の方と同様に近隣の駐車場を借りていただくか、住宅の大きさを建築主に考えていただく。

Q 事業の開始と募集はいつかけられるのか。

A 年内には完成したい。分譲開始は出来てから行う方法もあるし、完成予定時期を示して募集する方法もある。

Q 販売価格は。

A 本来でしたら土地購入価格と造成費を合わせた金額を加味するやり方が良いと思っているが、あかまつ団地の分譲価格等も考えながら、今後検討していく。

Q 人口が減っていく中で、思い切った安い価格にしてみてもは。

A あかまつ団地同様に定期借地権の活用も考える。

若桜に
定住を！

(旧)菴米分校の活用

企画政策課

説明

・企業判断により、投資金額に対して、採算がとれないので中止する。

意見

Q 当初予算で可決した改修費用はどうなるのか。

A 9月議会定例会で減額補正を行う。



(旧)菴米分校

議員研修報告

令和6年度 鳥取県町村議会 広報研修会

令和6年7月23日(火)、三朝町「渓泉閣」において、「令和6年度 鳥取県町村議会 広報研修会」が開催され、議会だより調査特別委員会の4名が参加しました。

今回は「読者をふやす 議会広報誌の編集」と題して、一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事 金井茂樹氏から講義を受けました。

具体的な広報誌の構成や文面の工夫、広報の役割として発信だけでなく広聴（町民の声を聴く）が必要であることを研修しました。



智頭町議会・若桜町議会議員交流会

令和6年8月23日(金)、「智頭町議会・若桜町議会議員交流会」が、本町で開催され、智頭町議会議員12名と若桜町議会議員9名が「議員のなり手不足解消に向けたこれまでの取り組みと、今後の後をどのように考えているのか」「女性議員がいないが、女性の声をどのように聴取しているか。」「一



委員会制のメリット、デメリットと活性化策」「若桜町における移住者の傾向」「人口減少対策」「今後の議会改革の取り組み」「タブレット導入のテストの結果」「開かれた議会を目指した取り組み」「議員の活動を知ってもらうための活動」「議員報酬」等について意見交換を行いました。

議会からのお知らせ

町政などに対して意見や要望があるときは

町政などへの要望等を直接書面で提出できる制度として、請願・陳情があります。

提出された請願・陳情は議長が議会運営委員会に諮り、常任委員会に付託するか否かを決定します。「常任委員会の審議になじまない」と判断されたものについては付託しない場合もあります。審査後は本会議で採否を決め、採択されれば、行政に活かされるよう町長または関係機関に審議結果を送付し願意の実現を求めます。

一般質問はインターネット中継でご覧いただけます

定例会の本会議で行う一般質問は、「生中継」と「録画動画」がご覧いただけます。一般質問の開催日時は、IP告知端末などで事前にお知らせします。若桜町ホームページ上にアクセスしてご覧ください。

録画放送は [若桜町議会録画放送](#)   でご覧ください。

令和6年度議員座談会について

議員座談会で出された議会に対するご意見・ご要望について、町民の信託に応えるため議会改革調査特別委員会で検証をします。その結果については、できるだけ早い時点で議会だより等においてお知らせいたします。また、いただいたご意見を町政に生かすと共に、議会改革をすすめ、住民目線の議会活動に生かしてまいります。



わたしの想い

このコーナーでは、令和6年3月に高校を卒業され、それぞれの旅立ちを迎えられた皆さんからのご要望や率直な意見、若桜への想いを紹介させていただきます。

「I LOVE 若桜」

すぎた ゆいと
杉田 結翔さん（あかまつ団地）

僕は、この春から兵庫県のお肉屋さん就職しています。毎日肉の部位を覚えたり、加工をしたりしています。こちらでの生活も楽しいですし、人にも恵まれています。将来は鳥取に帰って焼肉屋を開くという夢があるので、今は頑張っています。

でも、いざ地元を離れてみると、たくさんの人への感謝の思いがこみ上げてきて、若桜町が恋しいと思う時があります。すれ違う人が顔見知りで、いつも笑顔で挨拶してくれるあの雰囲気、自分にとって心地よかったと改めて感じました。高校の時は、毎日



若桜鉄道にもお世話になりました。とても愛想のいい車掌さんとスタッフは素晴らしいです。やはり、若桜町は温かい町だと感じます。

若桜町は本当に素晴らしい町で、たくさん魅力があると思うので、たくさんの方と人が交流する場をもっともっと増やして、これから若桜町が発展していくのを心から楽しみにしています。

僕も若桜町のためにできることを見つけて、少しでも若桜町の役に立てるように、夢が現実になるように頑張ります。

意見・写真をお寄せください

メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あしがき

例年、議会だより11月号は、九月定例会の会期の都合で、作成期間が通常より短く、毎回ヒヤヒヤしながら編集作業に取り組んでいます。

今年度から一般質問や常任委員会報告などはじめ、誌面に対し色々な取り組みを盛り込んでいます。今以上に、町民の皆さんに手に取っていただくため努力していきます。

今後のより良い誌面作りのためにも、ご意見・ご要望をお寄せください。

(記 梶原 明)



議会だより調査特別委員会

- | | | | | |
|-------|------|------|------|-------|
| 議長 | 委員 | 副委員長 | 委員 | 委員 |
| 山根 政彦 | 梶原 明 | 川上 守 | 谷口 貴 | 森田 二郎 |